

志をもって楽しくチャレンジする子ども
～進んでコミュニケーションを図る子ども～
「言葉と笑顔のキャッチボール」

うきは市立山春小学校 学校だより

「笑顔」②



平成31年4月25日発行

発行者 校長 柳瀬 浩三



山春小の「笑顔」を求めて、みんなで頑張っています。

平成31年度の山春小学校がスタートして、3週間が経とうとしています。子ども達は、毎日元気に登校し、校門の前できちんと立ち止まって「おはようございます」と「笑顔」であいさつもできています。6



歓迎遠足で6年生と遊んで、にっこり「笑顔」

年生を初めとして、上の学年の人たちがきちんとお手本を示してくれているからです。ありがとうございます。今月は特に、みんなが「笑顔」になれるよう頑張っている6年生の姿を紹介します。※1年生との関わ



入学式で6年生に名札を付けてもらい、にっこり「笑顔」



入学式で6年生との記念写真で、にっこり「笑顔」

りを通して、6年生は、最上級生としての顔に変わっています。山春小のリーダーとして頑張る、とても頼もしいお兄さん、お姉さんです。

ワンポイント家庭教育講座① コミュニケーション（日常会話）

～子どもさんと会話できていますか？～



山春小の本年度の重点目標は、「進んでコミュニケーションを図る子どもの育成」です。今年度も、家庭と学校が連し、重点目標を達成していきたいと思ひます。そこで、子ども達の生活のあらゆる場面においてコミュニケーション体験を豊かにする基本的なポイントを紹介し、これらを参考にし、日頃の自分の関わり方を振り返り、日常生活の中でさらに実践し続けてみませんか。

ポイント1 子どもの話を最後まで聞く。(言葉の先取りをしない)

Check! (解説) 子どもの話を最後まで聞かず、子どもが伝えたいことの意を汲んでしまい、大人が先に行動したり、話をしたりすることはありませんか。「先生、プリント…。」「ここにあるよ。」や「おかあさん、ご飯…。」「じゃあ、食べる準備をしようね。」また、「子どもがうまく説明できずにいるところに、大人の側から内容を導き出す。」などがわかりやすい例でしょう。



これらの積み重ねが、自分の思ひを正確に伝えられないという現象につながります。子どもが、「主語、述語」を使ってきちんと話せるようになるために、大人が言葉の先取りをせず「待つこと」「我慢すること」、そして「最後まで伝えられるよう仕向けること」(「プリントがどうしたの?」「ご飯をどうしたいの?」)が大切です。

※続きは、次号でお伝えします。